

がんばろう日本

～亀岡市は東日本の復興を支援します～

August.2011

広報No. 580

キラリ 亀岡

■亀岡市の人口と世帯数
平成23年7月28日現在
93,323人
(男45,517/女47,806)
37,128世帯
■亀岡市の面積
224.90km²

主な内容

- 1ページ
今、ここにある平和の尊さ
- 2ページ
新たな歴史の幕開け
- 3ページ
見て・聞いて・触って学ぶ
亀岡生き物大学開校
- 4ページ
国民文化祭を盛り上げよう

編集発行：亀岡市企画管理部秘書広報課／〒621-8501 亀岡市安町野々神8番地／☎0771-22-3131 (代) ☎0771-24-5501
ホームページ <http://www.city.kameoka.kyoto.jp> 携帯版ホームページ <http://www.city.kameoka.kyoto.jp/m/> 電子メール office@city.kameoka.kyoto.jp



～平和塔に込めた祈り～

平和祭は亀岡町時代の昭和27年、前年に起こった平和池の決壊による水害からの復興を契機として行われ、同年の「世界連邦平和都市」宣言と合わせて、亀岡から世界の恒久平和を願うものとして始まりました。
平和塔前での平和祈念式典を中心に、さまざまな行事が行われる亀岡平和祭に込められた意味を、8月の平和月間を通じて、いま一度、考えてみましょう。

今、 ここに ある 平和の 尊さ

多くの御霊が眠る平和塔の前で、今年も、そしてこれからも、亀岡市は世界の恒久平和を願い続けてまいります。

夜空を彩る 平和の灯火

本日開催される今年の平和祈念式典では、核兵器のない未来を後世に残したいという思いから昨年採択、制定され



△昨年の平和祈念式典での1コマ(放鳩の様子)

平和塔に 見守られて

昭和49年、それまでの平和祭は大踊り大会と保津川花火大会の2つを中心行事として行われてきましたが、亀岡で平和祭を行う意味について、いま一度しっかりと見つめ直そうと、平和塔前での平和祈念式典が始まりました。

西山の中腹、市内を見守るようにそびえる高さ約10メートルの平和塔には、日清戦争以後の戦没者1682柱が「御霊の記録」として納められ、また、平和池水害による犠牲者も祭られています。



△皆さんから預かった折り鶴を届けました

「想を話されました。この旅の記録や参加者の感想文集は、11月のヒューマンフェスタで展示し、多くの人にご覧いただく予定です。」

7月24・25日に親子30人の参加による「第9回ヒロシマに学ぶ親子平和の旅」を実施しました。

ヒロシマの空に 平和を祈る

参加者の八木厚子さんは、「私は以前にもこの地を訪れたことがあり、子どもにもぜひ知ってほしいと思い参加しました。なぜこんな無差別なむごいことをしたのだらうという残念な気持ちでいっぱいです。早く戦争のない世界になってほしいと思います」と感想を話されました。

現地に着いた一行は、自分たちの折り鶴と亀岡市民から預かった約5,100羽を原爆の子の像に奉納。次に原爆慰霊碑に全員で黙とうを捧げ、献花を行いました。広島平和記念資料

館の見学と被爆者の体験談では、原爆投下後のまちの状況や被爆した人々の悲惨さを知り、原爆の恐ろしさや戦争の愚かさを感じずにはいられない様子でした。



△平和を願う灯火を、花火大会会場まで運びます

ある平和の尊さを感じながら、亀岡の平和祭を楽しんでください。



たくさんの方々が、花火が、真夏の夜空を鮮やかに彩ります。

た「世界連邦・非核平和都市」宣言を参列者全員で唱和した後、平和への思いを込めた黙とうや、献花などが行われます。
また、太陽光で採火する「平和の灯火」は、夜に行われる「平和の灯火パレード」でJR亀岡駅北口から平和祭保津川花火大会の会場まで運ばれた後、種火として使われ、平和を願って打ち上がる